

平成 30 年度 シラバスおよび学習計画（2 年選択 A 群：数学基礎 I）

数学科	科目名	数学基礎 I (2 年選択 A 群)	担当者	
履修学科	情報技術・インテリア・デザイン科・調理科			
履修学年	第 2 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	1 学年で学習した数学 I の内容を繰り返し学習・演習することによって、更なる基礎学力の定着と向上を目指す。			
評価規準	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	数と式, 2 次関数, 図形と計量及びデータの分析における考え方に関心をもつとともに, 数学のよさを認識し, それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	数と式, 2 次関数, 図形と計量及びデータの分析において, 事象を数学的に考察し表現したり, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して, 数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式, 2 次関数, 図形と計量及びデータの分析において, 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式, 2 次関数, 図形と計量及びデータの分析における基本的な概念, 原理・法則などを体系的に理解し, 知識を身に付けている。
評価方法	・学習活動状況 ・課題等の提出状況	・各定期考査 ・課題等の提出状況	・各定期考査 ・演習問題	・各定期考査 ・演習問題
使用する教材	・教科書 … ポイントノート数学 I (数研出版)			
その他	① 更なる学習効果を高めるため、定期考査前に対策プリントを活用する。 ② 演習形式で授業を行う。			

月	単元名	学習内容と方法	備考		
4	第一章 数と式	1. 計算の基本 2. 文字を使った式 3. 単項式と多項式 4. 多項式の加法と減法 5. 多項式の乗法 6. 展開の公式 7. 因数分解 (1) 8. 因数分解 (2) 9. 展開, 因数分解の工夫 10. 根号を含む式の計算 11. 実数			
5				第 1 節 数と式の計算	中間考査 (5月)
6				第 2 節 1次不等式	期末考査 (6月)
7				第 3 節 集合と命題	
9				第 1 節 2次関数のグラフ	
10	第二章 2次関数	1. 関数 2. 1次関数のグラフ 3. $y = ax^2$ のグラフ 4. $y = ax^2 + q$ のグラフ 5. $y = a(x-p)^2$ のグラフ 6. $y = a(x-p)^2 + q$ のグラフ 7. $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ	中間考査 (10月)		
11		第 2 節 2次関数の値の変化	期末考査 (11月)		
12		1. 2次関数の最大値, 最小値 (1) 2. 2次関数の最大値, 最小値 (2) 3. 2次方程式 4. グラフと2次方程式 5. グラフと2次不等式 (1) 6. グラフと2次不等式 (2)			
1	第三章 図形と計量	1. 直角三角形 2. 三角比 3. 三角比の値 4. 三角比の利用 5. 三角比の相互関係 1. 正弦定理 2. 余弦定理 3. 三角形の面積 4. 鈍角の三角比	学年末考査 (2月)		
2				第 1 節 三角比	
3				第 2 節 三角形への応用	